

東中通信

藤岡市立東中学校学校通信 第2号

発行日：令和6年5月8日（水）

発行者：校長 永田伊知郎



東中HP

あいさつ運動実施中！

各学級の委員長・副委員長が、縦割りのクラス毎に玄関前で毎朝あいさつ運動をしています。その近くで、私も担当教師と一緒にあいさつ運動をしています。生徒のあいさつのタイミングや距離感、声の大きさは人それぞれですが、今のところ、通り過ぎる全員があいさつできています。目を合わせてあいさつができる、遠くからあいさつができる、大きな声であいさつができる生徒もたくさんいます。この姿は、過日お配りした「EAST子育てアクションプラン」の行動目標の一つである「相手の目を見て声を出し、あいさつや感謝の気持ちを伝えます」を実践している姿であると考えます。

ところで、「行動が大事か、心が大事か」という議論があります。つまり、大きな声であいさつをしているけれども気持ちが伴っていない人と、気持ちはあるが声を出してあいさつするのが苦手な人、どちらがよいと思いますか？価値があると思いますか？という話です。（もちろん、「心も行動もそろっている」ことがベストではあるし、東中の生徒もそうであると願いますが、...）

前者について：したくもないあいさつを大きな声でするなんて偽善者ではないか

面倒くさいと思う自分に打ち勝ってあいさつをしているのだからそこに価値がある など

後者について：いくら相手を思う気持ちがあったとしても伝わらなければ意味が無い

心のもっていないあいさつをするよりははまだ など

このことについて、一概には言えないし、二者択一は難しいかもしれません。しかしながら、その行為が相手に伝わるのは前者であることは間違いありません。特に、生徒一人一人の普段の様子や特徴を把握していない私のような存在の人間にとっては、声として、形として伝わって来るものが今のところ全てです。そう考えると、まずは、形から入るあいさつ、勇気を出して声を出すことを優先してあいさつを励行していきたいですね。やってみて、その大切さに気付く、つまり「形は心を整える」という効果もありますので。



*5/27(月)～5/31(金)「地域でふれあうあいさつ運動」を一貫校4校で実施します。

「授業参観、年度始総会、学年・学級保護者会」お世話になりました(4/24)

新年度最初の授業参観ということもあり、たくさんの保護者の皆さんが来校されました。ひと通り、全ての学級を見させていただきましたが、生徒たちは緊張しながらも、いつも以上に頑張っていたようでした。保護者の皆様も、静かに、授業や生徒の様子を見守っていただきありがとうございました。その後、PTA年度始総会により本年度の諸計画などをご承認いただきました。本部役員の皆様、大変お世話になりました。



最後に、学年・学級保護者会を開催しました。近年は、家庭訪問も実施していないので、保護者会と二者面談（現在実施中4/30～5/10）が、皆さんにお目にかかる機会となります。今後とも、何か心配なことや不明なことがございましたら、担任及び学年職員までお問い合わせください。

